

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
道徳教育の理論と方法	講義	1	矢野 正
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b> 道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動である。道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。			
<b>【授業の概要】</b> 道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法を理解する。			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. 道徳の本質について(道徳とは何か)、学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容を理解する。			
2. 道徳教育の歴史や現代社会における道徳教育の課題(いじめ・情報モラル等)を理解する。			
3. 子どもの心の成長と道徳性の発達について理解する。			
4. 学校における道徳教育の指導計画や教育活動全体を通じた指導の必要性を理解する。			
5. 道徳科の特質を生かした多様な指導方法の特徴を理解する。あわせて教材研究を行う。			
6. 道徳科における教材の特徴を踏まえて、授業設計に活用する。また授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成する。			
7. 道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方を理解する。			
8. 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付ける。			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方:自分の受けてきた道徳教育について振り返り、整理しておくこと。			
学習のあり方:新学習指導要領で教科化された意味について理解し、学習指導案を書く。			
復習のあり方:教壇に立ったとき子どもの心に寄り添える道徳教育の在り方を実践する。			
<b>【成績評価】</b> 授業態度(15%)、中間レポートなど(15%)、到達度確認試験(70%)			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b> 授業後にウィークリーレポートに赤でコメントをつけて返却する。 また、授業後にメール(ai814059@hotmail.co.jp)などで質問することが望ましい。			
<b>【テキスト】</b> 文部科学省「小学校学習指導要領解説 道徳編」東洋館出版社 文部科学省「小学校道徳読み物資料集」文溪堂			
<b>【参考文献】</b> 「ひといのち(人権教育読本にんげん)」明治図書出版 「わたしたちの道徳 小学校1・2年」文溪堂 「わたしたちの道徳 小学校3・4年」教育出版 「私たちの道徳 小学校5・6年」廣済堂あかつき			